



平成 28 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名	コスモ・バイオ株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 櫻井 治久 (コード3386)
問 合 せ 先	
役職・氏名	取締役総務部長 世良 伸也
電 話	03-5632-9600

エクソソーム検出用抗体の特許権譲受契約締結に関するお知らせ

～新規バイオマーカーの探索をサポートします～

本日、コスモ・バイオ株式会社（以下「当社」）は、塩野義製薬株式会社（以下「塩野義製薬」）の所有するエクソソーム検出用抗体の特許権（一部成立済）並びに関連する抗体製品の製造・販売権に関する特許権譲受契約を塩野義製薬と締結いたしましたのでお知らせいたします。

エクソソームは、細胞から分泌された脂質二重膜で形成される直径 40nm～150nm 程度の小胞です。ヒトをはじめとする多くの生物では唾液、血液、尿、羊水、母乳等の体液中に存在しています。近年、エクソソームには様々なタンパク質やRNAが含まれている事が報告されており、特にエクソソームの中に含まれているマイクロRNA^{注1)}は、新たなバイオマーカー^{注2)}として注目を浴びており、日本のみならず、世界中で活発に研究が行われています。

このたび、当社は塩野義製薬が開発したエクソソーム検出用モノクローナル抗体（抗 CD9、抗 CD63 及び抗 CD81）の特許権（一部成立済）並びにその製造・販売権に関する「特許権譲受契約」を締結いたしました。これらの抗体はエクソソーム表面に発現しているタンパク質に特異的に結合することで、簡便に高純度のエクソソームを単離することができ、エクソソーム研究には不可欠とされている抗体です。当社は本抗体を自社製造することで、安定的な抗体の供給、エクソソーム研究に必要な新規試薬の開発を積極的に行う計画です。また、臨床検査薬製造の原料、新規治療法の開発など大量に抗体を必要とするユーザーの要望にも応えてまいります。

当社では、これらの抗体を国内の学術研究向けばかりではなく、製薬会社、臨床検査薬開発会社などの民間企業をはじめ、世界に向けて販売いたします。

業績見通しに与える影響

当社グループの収益基盤の拡大に繋がるものと考えておりますが、当社グループ全体の当面の業績に大きな影響はありません。

以上

《用語解説》

注1) マイクロRNA

生体内に存在する 21-25 塩基長の短いRNAです。遺伝子発現を調節していることが知られており、ヒトには約 2,500 種類のマイクロRNAが存在しています。

注2) バイオマーカー

様々な疾患の進行度、存在を示す指標となるタンパク質等です。一般的には血液、尿中のタンパク質等を測定します。